弘前大学農学生命科学部地域環境工学科農業土木コース

令和元年度 教育評議会 記録

日時：令和2年3月14日（土）15：30～17：00

場所：農学生命科学部203講義室

出席者：[学外委員] 櫻田(隆), 桜田(清), 山田, 小中, 中村, 小笠原, 井ノ上

[プログラム教員] 泉, 遠藤, 加藤, 加藤(千), 佐々木, 鄒, 藤崎, 丸居, 森, 森谷

進行：藤崎 記録：丸居

前回の記録の確認

資料の通り承認された。

議 事

(1) 令和元年, 2年度教育評議員について

資料1-1に基づき、教育評議会委員について説明があり、承認された。

(2) 学生の学習目標達成状況

資料2-1に基づき、卒業予定学生の学習・教育到達目標、単位習得状況について説明があり農業土木コースの修了要件を満たしていることを確認した。(A)～(F)に相当する具体的な授業科目について質問があり、次年度から資料2-1へ記載することとした。

資料2-2に基づき、1年生から3年生までの学生の面談結果および就学状況について説明があった。3年生の農業土木コースが多い理由について質問があり、毎年波があり明確ではないが修習技術者に魅力を感じる学生が希望し、希望者は全員受け入れていることを説明した。また、担任制度について質問があり、1年生から3年前期まで継続して担当し面談していることを説明した。

(3) 教育褒賞

資料3に基づき、教育褒章選考委員会で2018年度後期分と2019年度前期分を対象に選出した結果について説明があり、今年度は丸居先生が褒章の対象になることが了承された。

(4) 就職状況

資料4に基づき、卒業予定者の就職状況について説明があった。

(5) その他

資料5-1に基づき、認定プログラムの年次報告書について報告があった。教育点検活動、教育改善活動について具体的な内容を記載すべきではないかと提案を受け、改善することとした。

資料5-2に基づき、JABEEの2019年度基準改定について、とくに授業時間表記の変更についての説明があった。継続審査合格が簡単になるのではないかと質問があり、作業は簡略化されるが、教育の質は従前どおり求められるので継続して教育点検、教育改善をする必要があると説明があった。

資料5-3に基づき、教員の研修について説明があった。

その他、意見交換として、授業に対する慰労と評価や、基準改定後の作業量、JABEE教育・修習技術者のメリット、新入社員の技術士希望状況、について話し合われた。